

里山社は 2019 年 7 月 1 日からトランスビュー取引代行に変更します。

里山社は 7 月 1 日より、ツバメ出版流通扱いの流通経路から、トランスビュー取引代行を利用した直取引に変更致します。今後はトランスビュー取引代行を利用した直取引(返品可)、または八木書店を経由した取次経由(買切返品不可)となります。

すでに弊社の本をご入荷いただいている書店様は、在庫商品のご返品いただいたうえで、改めてこちらのトランスビュー取引代行の注文書に冊数をご記入いただき、ご返送ください。たいへんなお手数をおかけしてしまい、誠に申し訳ございません。

今回から新規ご入荷の書店様も同様にこちらの注文書でご注文お願い致します。今後も弊社の本をスムーズにお取扱いいただけるよう、改善に務めて参ります。何卒お願い申し上げます。

里山社 清田麻衣子



里山社
SATOYAMA
SHA

里山社は、人間と自然の調和をとり、緩衝地帯となる里山のように、多様な人が生きる世の中で必要とされ、時代を超えて普遍的な価値をもつ本を出していきます。

〒 214-0032 神奈川県川崎市多摩区柘形 1-21-3-202
TEL 080-3157-7524 (清田/きよた)
HP <http://satoyamasha.com>
MAIL kiyota@satoyamasha.com

里山社 (トランスビュー取引代行) 既刊一覧注文書 FAX 0120-999-660

貴店名 () ご担当者 (様)

ジェンダー写真論
1991-2017



笠原美智子

ISBN 978-4-907497-07-1
本体 2,700 円 + 税

「あいちトリエンナーレ 2019」で遂にジェンダー平等が実現！その礎を築いたパイオニアによる話題の書！

7月1日
2刷出来！

「ジェンダー写真論 1991-2017」笠原美智子著

日本で女性や LGBTQ による写真・美術展が開催されていなかった 1991 年。東京都写真美術館の学芸員として日本で初の女性のセルフ・ポートレート展を開催。写真、現代美術とジェンダー問題の関わりを問い続けたパイオニアによる、91 ~ 17 年にかけてのテキストを豊富な図版と共に収録！

フェミニズム、ジェンダーの歴史を丁寧に解説しながら、アーティストの格闘を通してジェンダーの問題に鋭く迫る。

書評多数掲載のロングセラー書籍です！

取り上げられているのは女性だけではない。民族、人種、セクシュアリティ、病、老いなど人間にとって根本的な問題に向き合った、さまざまなバックグラウンドをもつ写真家の作品だ。社会から見過ごされがちなの小さな声に耳を傾けようとする真摯な姿勢は、著者自らが経験してきた社会への違和感や個人的な葛藤に裏打ちされている。(竹田万里子)

家父長制社会の中で周縁化されてきた LGBTQ の人々が写真に焼き付けた、個々の抵抗の記録としての芸術の歴史。著者が表明する、当事者でない人間が他者を表現することへの葛藤と気遣いは、現代の人々が忘れてはいけない真摯な態度である。(松田青子)